

天の御国が近づいたから

御言葉：マタイの福音書3：1-17

要節：マタイの福音書3：2

「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」"Repent, for the kingdom of heaven is at hand."

国民的歌手・美空ひばりの有名な歌の中に、このような歌詞があります。「デコボコ道や曲がりくねった道、地図さえない それもまた人生」私たちの人生の大変さをよく表現してくれています。だから、人々の共感を得て、今もなお歌い続けられているかもしれません。

昔の人も、現代の人たちも、人の人生って本当に大変で、何も見えない状態でデコボコ道や曲がりくねった道をずっと歩いているのは同じではないでしょうか。そんな人生を生きている私たちは傷つけられ、ほじくられ、突っかかり倒られ、曲がり曲がって、折れくねられたまま、しかも真っ暗闇の中に立っているのだと、聖書は言っています。

ちょっとしたことで人を憎んだり、悩んだり、少し苦手な人とはコミュニケーションがうまくいかないし、人を恐れ、人をけなし、心の中で人を殺したりさえする私たちの心は、悲しんでいて、苦しんでいます。私たちの心は曲がりくねった道を歩かされていて、真っ暗闇に投げつけられたものです。

そこで、自分の心がそのようだと思うすべての人に、聖書は今日の御言葉でこう招いています。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」とても直線的であり、衝撃的であり、唐突すぎて、あまりにも日本社会にはなじみのない言葉でものを言っているような気がします。

でも、この御言葉は多くの人々に影響を及ぼしました。少なくとも日本人クリスチャンの中では、この御言葉を受け入れ、聖書によって、信仰によって、イエス・キリストによって、新しい人生を生きている人が多くいると思います。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」この御言葉が、どうしてデコボコ道や曲がりくねった道を真っ暗闇の中でさまよっている私たちに救いとなり、慰めとなり、勇気となり、希望の光となるのでしょうか。なぜ聖書はそう言っているのでしょうか。

その聖書が証しているイエス・キリストについて、この時間皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

今日の聖書はいきなりこう宣言しています。「そのころ、バプテスマのヨハネが現われ、ユダヤの荒野で教えを宣べて、言った。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」」まず、バプテスマのヨハネとはいったい誰でしょうか。その説明が3-4節にあります。「3:3 この人は預言者イザヤによって、「荒野で叫ぶ者の声とする。『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。』」と言われたその人である。3:4 このヨハネは、らくだの毛の着物を着、腰には皮の帯を締め、その食べ物はいなごと野蜜であった。」バプテスマのヨハネに関する内容は聖書の書いてあるとおりです。荒野で叫ぶ声でした。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」です。

少し時代の背景を説明しますと、旧約の最後の預言者マラキから約400年間の間、暗黒の時代でした。

ユダヤ人たちは毎週日曜日会堂にいて、律法学者やパリサイ人たちからさまざまなメッセージや旧約や経典などを聞かせてもらっているはずなのに、人々の心は真っ暗闇でした。それは今も変わりません。先ほども話したようにこの世の中で生きている私たちの心は本当に大変で、何も見えない状態でデコボコ道や曲がりくねった道をずっと歩いていて、私たちの心は傷つけられ、ほじくられ、突っかかり倒られ、曲がりに曲がって、折れくねられたままに、真っ暗闇に突っ立っているのです。

そんな私たちの心の中に主の道を用意し、主の通られる道を、私たちの心をまっすぐにせよ。と荒野で叫ぶ者の声がしたのです。まっすぐにの単語のもともとの原語には、まっすぐの意味と喜ぶの意味、正しいの意味があります。すなわち、人々の心に主が来られる道を喜びで正しく作りなさいという意味です。多くの宗教指導者がいろんな人生の判断基準を教え、さまざまな希望やビジョンを提示した王もたくさんいたはずですが、人々は、400年間の暗黒の間に暗闇の中でさまよっていました。どこに行けばいいのか、どのように生きていけばいいのか、自分の人生はどこに向かっているのか、一足先のことがわからないまま、生きているのです。

そこに、いきなり声が聞こえてきたのです。「悔い改めなさい」といつもの会堂ではなく、誰もいない荒野で、獣と、毒虫と、殺人的な暑さと砂漠と凍りつく寒さだけがある、生きることがとても困難な荒野で、誰も近づきたくない荒野で、かすかな光の音がしたのです。

しかし、その声は救いの声ではありません。その声は救いを準備させる声でした。悔い改めさせて、主の道をまっすぐに喜びをもって用意される声でした。

この新しい声に人々は渴いた羊が水辺を求めて走るように、耳を傾けました。うわさを聞いて都市から、遠い田舎町からもバプテスマのヨハネのところにきて、人々は自分の罪を告白しました。

その中に、パリサイ人やサドカイ人もいました。彼らは民たちをむしろ悔い改めの道に導くべきでしたが、彼ら自身が悔い改めの道から遠く離れていて、悔い改めにふさわしい実を結ぶことはしませんでした。彼らパリサイ人やサドカイ人は、片方は伝統と形式と組織を重視して人々に真理を曲げさせ、その形式だけを強いました。もう片方はこの世の現実だけを求めさせて、政治的な解決力で、富に者を言わせ、高い教育を受けましたが自分を誇り、自分の知識欲を満たすことにしか使わず、人々を惑わせ、さまよわせ、人々を苦しめてきたのです。

彼らは本当の牧者ではなく、雇い人でした。羊のことより自分のことが先でした。彼らが誇っていたのは、自分の地位や自分の生まれ、自分の知識と家柄でした。彼らは悪い実を結ぶものたちでした。

羊は自分の羊飼いをすぐ見分けるようで、悔い改めにふさわしい実を結んでいる者が誰なのかすぐにわかります。なので、バプテスマのヨハネのところに、人々が雲のように集まってきたのです。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」とても衝撃的であり、唐突すぎで、あまりにも日本社会にはなじみのない言葉でストレートにものを言っていますが、人々は本当の声を求めて集まってきました。

悔い改めとは変わることです。今までの生活や考え方を投げ捨ててしまい、全く違う生活習慣や考え

方、生き方、価値観に変えることです。

人々は今までの人生の歩み方を捨てて、新しい価値観で生きなさいというバプテスマのヨハネの荒野での声を待っていました。人は誰であっても自分の人生が豊かになり、幸せになり、喜びで満ち溢れることを望まない人はこの世で一人もいません。

聖書はその道が悔い改めることにあると宣言しています。悔い改めて、主の道を喜んで受け入れると、悔い改めによる聖霊の実を結ぶようになります。悔い改めは聖霊の働きです。その聖霊が働くことで結ばれる悔い改めの実は愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

私たちの心にこのような聖霊の実が結ばれることを想像してみてください。その人生はお金では買えない豊かな喜びが心に満ち溢れます。それこそ、変わった人生を生きることではないでしょうか。

ところで、このようなすばらしい人生の再スタートをするために絶対欠かせないことがあります。それは、もうひとつの声を聞くことです。心の用意をするためにバプテスマのヨハネの声を聞いた次には、まことの声、本当の希望の声、救いの声を聞かなければなりません。

16節-17節をご覧ください。「3:16 こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。3:17 また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」」

400年間の暗黒から悔い改めを用意する声が現れ、そして天の門が開かれ、天からの声がしました。聖霊がイエス様のところに下って来られて、天の御声がしたのです。人々が待ちに待ったユダヤ王の出現でした。

しかし、その声は人々の思いや考え、望みとは違うものでした。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」この天からの御声は私たちの心の中に、私たちの人々の生きる道は何かについて、改めて教えてくださる声でした。イエス様がこの世に来られた一番の目的は条件のない神様の一方的な愛が表れ、神様に喜ばれるためでした。それこそ、人類が神様によって造られた目的です。

罪により、もともとの姿を失っている人々が悔い改めることで聖霊と火によって罪が燃やされ、神様の愛や栄光が悔い改めた人々の人生の中に満ち溢れさせるために私たちの救い主、王であるイエスキリストがこの世に来られました。これこそ、私たち人類が待ちわびていた福音のこの上のない喜びの知らせです。

「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」この天の御声を信じるとき、私たちのデコボコ道、心のさまよいは終わります。私たちの中の心にある暗闇は追い払われ、愛と喜びの光が訪れます。神様を神様として受け入れ、拝み、自分は悔い改めによる全く新しい人生を始めることができます。

人と人との関係で傷つけられ、他人と比較されてしまい、ほじくられた心。自分の弱さで突っかかり倒られた心。ちょっとしたことで人を憎んだり、うらんだり、人のせいにしたりして曲がりに曲がった心、自分の欲や罪の勢いとそれとともに恐れ、死の恐怖で折れくねられたままの心。この心をどうしよ

うもなく、あきらめ座り込んで立ちすくんでいる真っ暗闇の心から、全く違う心として変わるのです。

そこには喜びがあり、愛が満ち、平安がいつも訪れ居座ってくれているのです。親切の心、誠実で、柔和な心。自制がいつも働く心に変わるのです。これが悔い改めによって変わった新しい心なのです。イエスキリストによる聖霊と火とによって全く生まれ変わった心です。

皆様はこの悔い改めによる新しい心を持ちたいと思いませんか。新しい人生、光へ歩む人生を生きたいと思いませんか。この時間、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」の御声に聞き従い、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」の御声を受け入れ、自分の人生を、自分の心を顧みることができるように祈ります。私たちの王であるイエスキリストに聞き従い、全く新しい心と人生を生きる私と皆さんになりますように祈ります。